

# 広島市報

号外第11号  
令和5年10月5日

発行所  
広島市役所  
(企画総務局法務課)

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

## 公営企業の業務状況の報告

### 公 告

令和5年8月31日

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき、広島市水道事業、広島市下水道事業及び広島市安芸市民病院事業の業務の状況を次のとおり公表します。

広島市長 松井 一 實

#### 目 次

○令和4年度第2回広島市水道事業の業務状況	1
○令和4年度第2回広島市下水道事業の業務状況	6
○令和4年度第2回広島市安芸市民病院事業の業務状況	11

### 令和4年度第2回広島市水道事業の業務状況

#### 1 事業の概況

令和4年度下半期（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）における水道事業の概況は、次のとおりです。

##### (1) 給水の状況

###### ア 給水戸数及び給水人口

今期における給水戸数は59万6,699戸、給水人口は122万2,900人で、これを令和3年度同期と比べると、給水戸数では3,339戸（0.6%）の増加、給水人口では4,151人（0.3%）の減少となっています。

区 分		令和4年度	令和3年度	比 較	
		下 半 期	下 半 期	増 △ 減	増減率(%)
給水戸数	戸	596,699	593,360	3,339	0.6
給水区域内人口(A)	人	1,243,538	1,248,230	△ 4,692	△ 0.4
給水人口(B)	人	1,222,900	1,227,051	△ 4,151	△ 0.3
普及率(B/A)	%	98.3	98.3	0.0	-

###### イ 給水量

今期における給水量は6,519万5,275立方メートル、一日最大給水量は39万6,185立方メートルで、これを令和3年度同期と比べると、給水量では79万4,387立方メートル（1.2%）の減少、一日最大給水量

では1万6,223立方メートル（4.3%）の増加となっています。

区 分		令和4年度	令和3年度	比 較	
		下 半 期	下 半 期	増 △ 減	増減率(%)
給水量	m <sup>3</sup>	65,195,275	65,989,662	△ 794,387	△ 1.2
一日平均給水量	m <sup>3</sup>	358,216	362,581	△ 4,365	△ 1.2
一日最大給水量	m <sup>3</sup>	396,185	379,962	16,223	4.3

#### (2) 主要施策の実施状況

##### ア 安全でおいしい水の供給

水質管理体制の強化として事業費1億366万2,948円で、水質検査機器の整備等を行いました。

安心な水の安定供給として事業費3億5,913万9,622円で、2,439メートルの配水管路の整備等を行いました。

環境負荷の低減として事業費4,652万4,931円で、水源かん養林の整備及び高効率機器の導入等を行いました。

事 業 内 容	令和4年度	うち
	事業費 (実績)	今期事業費
安全でおいしい水の供給	509,327,501	46,786,775
水質管理体制の強化	103,662,948	35,187,305
水質監視・保 安体制の確保	54,244,958	11,803,012
水質検査体制 の強化	21,721,227	0
残留塩素濃度 の低減・監視	27,696,763	23,384,293
安心な水の安定供給	359,139,622	0
配水施設の機 能向上	359,139,622	0
環境負荷の低減	46,524,931	11,599,470
水源かん養林 の整備	10,366,307	9,581,718
流域自治体と の連携	721,000	0
省エネルギー の推進	35,437,624	2,017,752

##### イ 水道施設の更新・改良

施設の更新・改良として事業費33億3,485万876円で、施設の統廃合の関連整備、取水・浄水・配水施設の更新・改良等を行いました。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

管路の更新として事業費35億4,503万7,389円で、9,811メートルの铸铁管・ビニル管の更新等を行いました。

事業内容	令和4年度 事業費 (実績)	うち 今期事業費
水道施設の更新・改良	円 6,879,888,265	円 318,513,804
施設の更新・改良	3,334,850,876	146,562,429
浄水・配水施設の統廃合	106,674,775	1,378,738
構造物の更新・改良	1,988,219,158	140,329,189
機械及び電気設備の更新・改良	1,154,762,693	0
効率的な運転管理体制の構築	85,194,250	4,854,502
管路の更新	3,545,037,389	171,951,375
管路の更新	3,506,150,772	170,300,096
漏水防止の推進	38,886,617	1,651,279

ウ 災害対策の充実

水道施設の耐震化として事業費1億6,128万7,761円で、災害拠点病院等への配水管路の耐震化等を行いました。

土砂・浸水災害対策の推進として事業費1,416万5,989円で、取水施設の浸水災害対策を行いました。

バックアップ機能の強化として事業費9億7,586万6,793円で、相互連絡管の整備及び無停電電源装置の整備等を行いました。

応急対策の推進として事業費2,306万7,708円で、緊急遮断弁の整備及び仮設水槽等の購入を行いました。

ア 収入

区分	令和4年度		執行率	令和3年度 決算額	比較	
	最終予算額	収入額			増△減	増減率
水道事業収益(A)	円 25,917,830,000	円 24,780,573,840	% 95.6	円 24,725,315,326	円 55,258,514	% 0.2
営業収益	23,251,359,000	22,103,805,229	95.1	22,038,224,174	65,581,055	0.3
給水収益	20,452,388,000	19,784,239,168	96.7	19,936,537,553	△152,298,385	△0.8
受託工事収益	1,137,995,000	690,437,922	60.7	625,267,696	65,170,226	10.4
その他の営業収益	1,660,976,000	1,629,128,139	98.1	1,476,418,925	152,709,214	10.3
営業外収益	2,664,381,000	2,617,747,323	98.2	2,649,043,970	△31,296,647	△1.2
特別利益	2,090,000	59,021,288	2,824.0	38,047,182	20,974,106	55.1

イ 支出

区分	令和4年度		執行率	令和3年度 決算額	比較	
	最終予算額	支出額			増△減	増減率
水道事業費用(B)	円 25,016,808,000	円 23,661,557,127	% 94.6	円 23,802,397,042	円 △140,839,915	% △0.6

事業内容	令和4年度 事業費 (実績)	うち 今期事業費
災害対策の充実	円 1,174,388,251	円 44,025,906
水道施設の耐震化	161,287,761	10,131,572
構造物の耐震化	8,946,023	0
重要給水施設への配水管路の耐震化	152,341,738	10,131,572
土砂・浸水災害対策の推進	14,165,989	3,744,394
浸水災害対策	14,165,989	3,744,394
バックアップ機能の強化	975,866,793	7,082,232
バックアップ施設の整備	876,553,594	0
非常用電源の確保	99,313,199	7,082,232
応急対策の推進	23,067,708	23,067,708
飲料水の確保	7,773,615	7,773,615
応急用資機材の整備	15,294,093	15,294,093

2 経理の状況

令和4年度の経理の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収入及び支出

令和4年度の収益的収入である水道事業収益は、247億8,057万3,840円で、令和3年度と比べて5,525万8,514円(0.2%)の増加となっています。

また、収益的支出である水道事業費用は、236億6,155万7,127円で、令和3年度と比べて1億4,083万9,915円(0.6%)の減少となっています。

収支差引は11億1,901万6,713円となり、消費税計算によって生ずる消費税及び地方消費税資本的収支調整額等6億1,516万654円を差し引くと、令和4年度は5億385万6,059円の純利益となっています。

営業費用	23,191,048,000	22,097,376,321	95.3	22,375,825,081	△ 278,448,760	△ 1.2
職員給与費	4,657,536,000	4,613,052,080	99.0	4,622,787,543	△ 9,735,463	△ 0.2
受水費	1,990,997,000	1,990,995,657	100.0	2,077,924,212	△ 86,928,555	△ 4.2
動力費	2,091,602,417	1,951,494,038	93.3	1,213,715,921	737,778,117	60.8
減価償却費	8,293,856,000	8,246,792,039	99.4	8,270,148,075	△ 23,356,036	△ 0.3
その他	6,157,056,583	5,295,042,507	86.0	6,191,249,330	△ 896,206,823	△ 14.5
営業外費用	1,776,918,000	1,533,935,147	86.3	1,409,830,841	124,104,306	8.8
支払利息及び 企業債取扱諸費	927,149,000	897,459,358	96.8	996,999,149	△ 99,539,791	△ 10.0
その他	849,769,000	636,475,789	74.9	412,831,692	223,644,097	54.2
特別損失	38,842,000	30,245,659	77.9	16,741,120	13,504,539	80.7
予備費	10,000,000	0	0.0	0	0	-

収支差引(C) = (A) - (B)	円 901,022,000	円 1,119,016,713	% 124.2	円 922,918,284	円 196,098,429	% 21.2
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額等(D)	493,533,000	615,160,654	124.6	811,684,012	△ 196,523,358	△ 24.2
純損益(C) - (D)	407,489,000	503,856,059	123.6	111,234,272	392,621,787	353.0

(2) 資本的収入及び支出

令和4年度の資本的収入は、58億3,275万7,550円で、令和3年度と比べて8億1,574万3,341円(12.3%)の減少となっています。

また、資本的支出は、142億5,845万4,916円

で、令和3年度と比べて15億4,100万9,208円(9.8%)の減少となっています。

なお、資本的収入が、資本的支出に対して不足する額84億2,569万7,366円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填することとしています。

ア 収入

区分	令和4年度		執行率	令和3年度 決算額	比較	
	最終予算額	収入額			増△減	増減率
資本的収入(E)	円 7,994,872,000	円 5,832,757,550	% 73.0	円 6,648,500,891	円 △ 815,743,341	% △ 12.3
企業債	7,419,200,000	5,497,100,000	74.1	6,399,100,000	△ 902,000,000	△ 14.1
出資金	95,410,000	95,408,531	100.0	93,682,892	1,725,639	1.8
補助金	20,607,000	17,362,000	84.3	23,718,000	△ 6,356,000	△ 26.8
受託建設収入	354,689,000	173,777,282	49.0	82,174,700	91,602,582	111.5
工事負担金	104,517,000	45,136,361	43.2	49,812,793	△ 4,676,432	△ 9.4
固定資産売却代金	261,000	3,800,270	1,456.0	0	3,800,270	皆増
その他資本的収入	188,000	173,106	92.1	12,506	160,600	1,284.2

補填額(F)	円 10,223,326,000	円 8,425,697,366	% 82.4	円 9,150,963,233	円 △ 725,265,867	% △ 7.9
過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	4,995,000	4,995,024	100.0	5,704,800	△ 709,776	△ 12.4
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	406,433,000	515,591,339	126.9	728,437,375	△ 212,846,036	△ 29.2
建設改良積立金	2,718,248,000	1,227,750,738	45.2	1,622,913,228	△ 395,162,490	△ 24.3
当年度分損益勘定留保資金	6,731,141,000	6,677,360,265	99.2	6,793,907,830	△ 116,547,565	△ 1.7
予算繰越額	362,509,000	0	0.0	0	0	-
前年度財源充当額(G)	0	0	-	0	0	-
計(E) + (F) - (G)	18,218,198,000	14,258,454,916	78.3	15,799,464,124	△ 1,541,009,208	△ 9.8

イ 支出

区分	令和4年度		執行率	令和3年度 決算額	比較	
	最終予算額	支出額			増△減	増減率
	円	円	%	円	円	%

資本的支出	18,218,198,000	14,258,454,916	78.3	15,799,464,124	△ 1,541,009,208	△ 9.8
建設改良費	12,087,690,000	8,172,960,929	67.6	9,868,940,576	△ 1,695,979,647	△ 17.2
配水施設整備費	10,037,771,517	7,107,754,739	70.8	8,486,106,064	△ 1,378,351,325	△ 16.2
浄水施設整備費	1,508,786,000	740,337,617	49.1	1,154,478,580	△ 414,140,963	△ 35.9
受託建設費	336,481,483	167,042,625	49.6	79,908,608	87,134,017	109.0
諸設備新設費等	204,651,000	157,825,948	77.1	148,447,324	9,378,624	6.3
企業債償還金	6,125,336,000	6,084,487,806	99.3	5,921,811,138	162,676,668	2.7
補助金返還金	5,172,000	1,006,181	19.5	8,712,410	△ 7,706,229	△ 88.5

3 資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高

令和5年3月31日現在の資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高は、次のとおりです。

(1) 資産

ア 固定資産	2,063億4,218万8,108円
イ 流動資産	108億9,390万 904円
計	2,172億3,608万9,012円

(2) 企業債 660億 834万 14円

(3) 長期借入金 0円（借入れなし。）

(4) 一時借入金 0円（借入れなし。）

4 令和5年度予算の概要

水道局では、令和4年度から令和7年度までの4年間の「広島市水道事業中期経営計画」を策定し、その中で「安全でおいしい水の供給」、「水道施設の更新・改良」及び「災害対策の充実」を主要施策として掲げ、計画的な施設整備を推進しています。

「安全でおいしい水の供給」については、水質管理体制の強化、安心な水の安定供給及び環境負荷の低減に取り組みます。

「水道施設の更新・改良」については、施設の更新・改良及び管路の更新に取り組みます。

「災害対策の充実」については、水道施設の耐震化、土砂・浸水災害対策の推進、バックアップ機能の強化及び応急対策の推進に取り組みます。

将来にわたって持続可能な水道システムの構築に向けて、これら主要施策を着実に推進し、給水の安全性・安定性を確保するとともに、より一層効率的な経営に努めていきます。

(1) 年間給水量と一日平均給水量

令和5年度の給水量は、年間給水量1億3,159万5千立方メートル、一日平均給水量35万9,548立方メートルを予定しています。

(2) 主要施策

ア 安全でおいしい水の供給

水源から蛇口までの水質管理を徹底するため、水質監視・保安体制の確保や、水質検査体制の強化を図るとともに、蛇口での残留塩素濃度の低減に努めます。

また、お客さまに安心な水を安定的に使用していただけるよう、未配管路への配水管路の整備に取り組むとともに、流量・水圧を測定する配水監視装置を整備し、配水監視体制の充実を図ります。

さらに、豊かな清流である太田川を次世代へ引き継いで

いくため、「広島市・太田川源流の森」の水源かん養林を整備するとともに、高効率機器を導入するなど環境に配慮した施設整備による省エネルギーを推進します。

令和5年度は、事業費9億1,740万9千円で、水質監視モニター装置や未配管路線等へ5,428メートルの配水管路の整備等を行うとともに、水源かん養林の整備、高効率機器の導入を行う予定です。

イ 水道施設の更新・改良

施設の更新・改良については、浄水・配水施設の更新に併せて、耐震化や統廃合等による維持管理効率の向上を図ります。また、構造物や機械及び電気設備は、点検・補修による長寿命化を図った上で、計画的な更新を推進します。さらに、ポンプ所や配水池の情報を集中管理できるよう、浄水場間のネットワークを整備し、効率的な運転管理体制を構築します。

管路の更新については、点検や漏水防止調査の結果を活用して管路を評価し、優先順位を設定した上で、計画的な更新を推進するとともに、更新に当たっては、すべて耐震管を採用し、管路の耐震化を図ります。

令和5年度は、事業費8億698万1千円で、神田山調整池の整備等を行うとともに、延長1万5,796メートルの铸铁管・ビニル管の更新等を行う予定です。

ウ 災害対策の充実

地震による被害を最小限にとどめるため、構造物の耐震化や災害拠点病院等の重要給水施設への配水管路の耐震化を計画的に実施するとともに、豪雨災害や南海トラフ巨大地震等による津波への対策として、配水施設等の土砂災害対策や取水場等の浸水災害対策を推進します。

また、事故や災害に備えて配水幹線の相互連絡管等のバックアップ施設を整備するとともに、停電に備えて非常用電源を確保します。

さらに、水道施設が被災した直後においても必要最低限の飲料水をお客さまにお届けできるよう、応急用資機材等を整備します。

令和5年度は、事業費10億6,561万4千円で、災害拠点病院等への配水管路の耐震化や水道施設等の土砂・浸水災害対策、相互連絡管の整備等を行うとともに、応急給水用資機材の整備を行う予定です。

(3) 収益的収入及び支出

令和5年度の収益的収入である水道事業収益は、246億

5,996万6千円を計上し、そのうち給水収益で201億1,236万7千円を見込んでいます。なお、水道事業収益は、令和4年度と比べて7億5,362万4千円(3.0%)の減少となっています。

また、収益的支出である水道事業費用は、239億8,420万9千円を計上し、そのうち職員給与費で44億758万5千円、支払利息及び企業債取扱諸費で8億5,807万

4千円を見込んでいます。なお、水道事業費用は、令和4年度と比べて2億1,763万円(0.9%)の増加となっています。

収支差引は6億7,575万7千円となり、消費税計算によって生ずる消費税及び地方消費税資本的収支調整額等5億3,296万2千円を差し引いた1億4,279万5千円の純利益を見込んでいます。

ア 収入

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
水 道 事 業 収 益 (A)	千円 24,659,966	% 100.0	千円 25,413,590	% 100.0	千円 △ 753,624	% △ 3.0
営 業 収 益	22,056,750	89.5	22,747,119	89.5	△ 690,369	△ 3.0
給 水 収 益	20,112,367	81.6	20,452,388	80.5	△ 340,021	△ 1.7
受 託 工 事 収 益	201,972	0.8	802,192	3.1	△ 600,220	△ 74.8
そ の 他 の 営 業 収 益	1,742,411	7.1	1,492,539	5.9	249,872	16.7
営 業 外 収 益	2,597,856	10.5	2,664,381	10.5	△ 66,525	△ 2.5
特 別 利 益	5,360	0.0	2,090	0.0	3,270	156.5

イ 支出

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
水 道 事 業 費 用 (B)	千円 23,984,209	% 100.0	千円 23,766,579	% 100.0	千円 217,630	% 0.9
営 業 費 用	22,447,952	93.6	21,940,819	92.3	507,133	2.3
職 員 給 与 費	4,407,585	18.4	4,657,536	19.6	△ 249,951	△ 5.4
受 水 費	1,887,113	7.9	1,990,997	8.4	△ 103,884	△ 5.2
動 力 費	2,559,230	10.7	1,251,968	5.3	1,307,262	104.4
減 価 償 却 費	8,296,354	34.6	8,293,856	34.9	2,498	0.0
そ の 他	5,297,670	22.0	5,746,462	24.1	△ 448,792	△ 7.8
営 業 外 費 用	1,494,138	6.3	1,776,918	7.5	△ 282,780	△ 15.9
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	858,074	3.6	927,149	3.9	△ 69,075	△ 7.5
そ の 他	636,064	2.7	849,769	3.6	△ 213,705	△ 25.1
特 別 損 失	32,119	0.1	38,842	0.2	△ 6,723	△ 17.3
予 備 費	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0

収 支 差 引 (C) = (A) - (B)	千円 675,757	% -	千円 1,647,011	% -	千円 △ 971,254	% △ 59.0
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額 等 (D)	532,962	-	493,533	-	39,429	8.0
純 損 益 (C) - (D)	142,795	-	1,153,478	-	△ 1,010,683	△ 87.6

(4) 資本的収入及び支出

令和5年度の資本的収入は、80億3,074万7千円を計上し、令和4年度と比べて8億2,977万5千円(11.5%)の増加を見込んでいます。

また、資本的支出は、159億5,828万8千円を計上し、令和4年度と比べて11億350万1千円(6.5%)の減少を見込んでいます。

なお、資本的収入が、資本的支出に対して不足する額79億2,754万1千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補

填することとしています。

この結果、令和5年度の予算規模は、399億4,249万7千円で、令和4年度と比べて8億8,587万1千円(2.2%)の減少となっています。

ア 収入

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入 (E)	千円 8,030,747	% 50.4	千円 7,200,972	% 42.2	千円 829,775	% 11.5
企 業 債	7,464,500	46.8	6,638,300	38.9	826,200	12.4
出 資 金	84,562	0.5	95,410	0.6	△ 10,848	△ 11.4
補 助 金	24,317	0.2	20,607	0.1	3,710	18.0
受 託 建 設 収 入	250,126	1.6	354,689	2.1	△ 104,563	△ 29.5
工 事 負 担 金	206,658	1.3	91,517	0.5	115,141	125.8
固 定 資 産 売 却 代 金	537	0.0	261	0.0	276	105.7
そ の 他 資 本 的 収 入	47	0.0	188	0.0	△ 141	△ 75.0

補 填 額 (F)	千円	%	千円	%	千円	%
	7,927,541	49.6	9,860,817	57.8	△ 1,933,276	△ 19.6
過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	2,835	0.0	4,995	0.0	△ 2,160	△ 43.2
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	448,573	2.8	406,433	2.4	42,140	10.4
当年度分損益勘定留保資金	6,741,017	42.2	6,731,141	39.5	9,876	0.1
建 設 改 良 積 立 金	735,116	4.6	2,718,248	15.9	△ 1,983,132	△ 73.0
計 (E) + (F)	15,958,288	100.0	17,061,789	100.0	△ 1,103,501	△ 6.5

イ 支出

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出 (G)	千円 15,958,288	% 100.0	千円 17,061,789	% 100.0	千円 △ 1,103,501	% △ 6.5
建 設 改 良 費	10,287,536	64.5	10,931,281	64.1	△ 643,745	△ 5.9
配 水 施 設 整 備 費	8,891,435	55.7	8,955,868	52.5	△ 64,433	△ 0.7
浄 水 施 設 整 備 費	972,388	6.1	1,429,044	8.4	△ 456,656	△ 32.0
受 託 建 設 費	241,889	1.5	341,718	2.0	△ 99,829	△ 29.2
諸 設 備 新 設 費 等	181,824	1.2	204,651	1.2	△ 22,827	△ 11.2
企 業 債 償 還 金	5,664,978	35.5	6,125,336	35.9	△ 460,358	△ 7.5
補 助 金 返 還 金	5,774	0.0	5,172	0.0	602	11.6
予 算 規 模 (B) + (G)	39,942,497	-	40,828,368	-	△ 885,871	△ 2.2

令和4年度第2回広島市下水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和4年度における下水道事業の概況は、次のとおりです。

(1) 処理水量等の状況

令和4年度下半期（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）における処理水量は、6,954万2,098立方メートルで、前年度同期の処理水量6,965万1,253立方メートルと比較すると、10万9,155立方メートル（0.2%）の減少となっています。

次に、下水道使用料の徴収対象となる有収水量については、5,812万6,285立方メートルで、前年度同期と比較すると82万9,369立方メートル（1.4%）の減少となっています。

水洗化の状況については、整備地区の拡大と普及促進の結

果、水洗化世帯数は55万6,627世帯で、前年度末と比較すると5,826世帯（1.1%）の増加となっています。また、当期末における処理区域内の水洗化率は、98.7%となっています。

処理水量等の比較

区 分	令和4年度 下半期	令和3年度 下半期	比 較	
			増 △ 減	増減率%
処 理 水 量 (m <sup>3</sup> )	69,542,098	69,651,253	△ 109,155	△ 0.2
一 日 平 均 処 理 水 量 (m <sup>3</sup> )	382,099	382,699	△ 600	△ 0.2
有 収 水 量 (m <sup>3</sup> )	58,126,285	58,955,654	△ 829,369	△ 1.4
水 洗 化 世 帯 数 (世帯)	556,627	550,801	5,826	1.1
水 洗 化 率	98.7	98.6	0.1	-

(%)				
汚水処理人口普及率 (%)	97.4	97.1	0.3	-

(注) 各数値は、公共下水道に特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理施設及び市営浄化槽分を加えたものである。

(2) 工事の状況

ア 公共下水道整備事業

本年度の事業費は、139億5,360万4,392円です。

下水管きよの整備については、総延長1万7,254メートルの布設工事及び改良工事を行い処理区域を拡大しました。

ポンプ場整備については、大州、庚午、南観音、間所ポンプ場等の改良工事を行いました。

水資源再生センター整備については、千田、西部水資源再生センターの改良工事を行いました。

イ 排水設備整備事業

本年度は、事業費4億4,699万1,238円で、中山地区等で管きよの移設工事等を総延長814メートル施工するとともに、取付管の設置等を行いました。

ウ 流域下水道整備事業

本年度は、事業費9,313万393円で、広島県が施行する太田川流域下水道整備事業に対する負担金を支払いました。

エ 市街化区域外汚水処理施設整備事業

本年度の事業費は、6億1,819万4,720円です。特定環境保全公共下水道整備として、安佐、湯来地区で下水管きよを総延長2,146メートル布設しました。

農業集落排水処理施設整備として、戸山地区で下水管きよを総延長751メートル布設しました。

市営浄化槽整備として、浄化槽14箇所の整備を行いました。

2 経理の状況

令和4年度の経理の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、443億8,129万8,303円で前年度と比較すると、4億7,359万5,611円(1.1%)の減少となっています。

この主な理由は、下水道使用料が減少したことによるものです。

次に、収益的支出は、431億6,365万7,346円で前年度と比較すると、3億6,272万2,009円(0.8%)の増加となっています。

この主な理由は、動力費が増加したことによるものです。

なお、収益的収入と収益的支出の差引き12億1,764万957円から消費税及び地方消費税資本的収支調整額を除いた純利益は、4億4,798万1,236円となっています。

収益的収入

区 分	令 和 4 年 度		執行率	令和3年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	収 入 額			増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 収 益 (A)	円 46,018,133,000	円 44,381,298,303	% 96.4	円 44,854,893,914	円 △ 473,595,611	% △ 1.1
営 業 収 益	36,334,763,000	34,671,096,180	95.4	34,972,616,901	△ 301,520,721	△ 0.9
下 水 道 使 用 料	21,335,200,000	20,482,227,391	96.0	20,655,444,380	△ 173,216,989	△ 0.8
一 般 会 計 負 担 金	14,804,218,000	13,993,349,494	94.5	14,124,969,135	△ 131,619,641	△ 0.9
そ の 他 営 業 収 益	195,345,000	195,519,295	100.1	192,203,386	3,315,909	1.7
営 業 外 収 益	9,680,494,000	9,703,634,221	100.2	9,854,029,130	△ 150,394,909	△ 1.5
受 取 利 息	69,000	62,859	91.1	68,452	△ 5,593	△ 8.2
国 庫 補 助 金	0	0	-	2,222,550	△ 2,222,550	皆減
負 担 金	69,321,000	64,215,342	92.6	72,784,806	△ 8,569,464	△ 11.8
一 般 会 計 補 助 金	408,000	31,458	7.7	347,731	△ 316,273	△ 91.0
長 期 前 受 金 戻 入	9,589,647,000	9,604,003,840	100.1	9,752,423,621	△ 148,419,781	△ 1.5
雑 収 益	21,049,000	35,320,722	167.8	26,181,970	9,138,752	34.9
特 別 利 益	2,876,000	6,567,902	228.4	28,247,883	△ 21,679,981	△ 76.7
過 年 度 損 益 修 正 益	2,876,000	4,061,144	141.2	17,902,793	△ 13,841,649	△ 77.3
そ の 他 特 別 利 益	0	2,506,758	-	10,345,090	△ 7,838,332	△ 75.8

収益的支出

区 分	令 和 4 年 度		執行率	令和3年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	支 出 額			増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 費 用 (B)	円 44,642,891,000	円 43,163,657,346	% 96.7	円 42,800,935,337	円 362,722,009	% 0.8
営 業 費 用	39,363,613,000	38,245,360,895	97.2	37,390,572,921	854,787,974	2.3

人 件 費	2,625,673,000	2,458,095,682	93.6	2,458,601,589	△ 505,907	0.0
動 力 費	983,438,364	936,845,937	95.3	600,938,900	335,907,037	55.9
減 価 償 却 費	26,572,870,000	26,646,058,467	100.3	26,469,734,409	176,324,058	0.7
そ の 他	9,181,631,636	8,204,360,809	89.4	7,861,298,023	343,062,786	4.4
営 業 外 費 用	5,251,182,000	4,912,974,170	93.6	5,398,292,126	△ 485,317,956	△ 9.0
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	4,668,395,000	4,401,590,610	94.3	5,026,565,462	△ 624,974,852	△ 12.4
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	582,770,000	511,383,560	87.8	371,636,265	139,747,295	37.6
雑 支 出	17,000	0	-	90,399	△ 90,399	皆減
特 別 損 失	8,096,000	5,322,281	65.7	12,070,290	△ 6,748,009	△ 55.9
予 備 費	20,000,000	0	-	0	0	-

収 支 差 引 (C) = (A) - (B)	円 1,375,242,000	円 1,217,640,957	% 88.5	円 2,053,958,577	円 △ 836,317,620	% △ 40.7
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額 (D)	806,550,000	769,659,721	95.4	1,004,392,370	△ 234,732,649	△ 23.4
純 損 益 (C) - (D)	568,692,000	447,981,236	78.8	1,049,566,207	△ 601,584,971	△ 57.3

(2) 資本的収入及び支出

本年度の資本的収入は、405億5,472万469円で前年度と比較すると、35億3,397万3,591円（8.0%）の減少となっています。

この主な理由は、建設企業債が減少したことによるものです。

次に、資本的支出は、597億945万9,299円で前年度と比較すると、41億777万9,106円（6.4%）

の減少となっています。

この主な理由は、公共下水道整備費が減少したことによるものです。

なお、資本的収入（翌年度繰越充当財源額8億8,433万8,617円を除く。）が、資本的支出に対して不足する額200億3,907万7,447円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填することとしています。

資本的収入

区 分	令 和 4 年 度		執行率	令和 3 年 度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	収 入 額			増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入 (A)	円 48,788,497,560	円 40,554,720,469	% 83.1	円 44,088,694,060	円 △ 3,533,973,591	% △ 8.0
建 設 企 業 債	19,267,800,000	13,720,600,000	71.2	17,712,300,000	△ 3,991,700,000	△ 22.5
借 換 債	16,333,500,000	16,333,500,000	100.0	15,840,900,000	492,600,000	3.1
一 般 会 計 出 資 金	4,108,919,000	4,465,118,734	108.7	3,362,738,272	1,102,380,462	32.8
国 庫 補 助 金	8,435,722,560	5,249,299,132	62.2	6,587,373,240	△ 1,338,074,108	△ 20.3
工 事 受 託 金	59,075,000	31,094,663	52.6	34,127,678	△ 3,033,015	△ 8.9
受 益 者 負 担 金	22,560,000	23,929,878	106.1	11,059,960	12,869,918	116.4
受 益 者 分 担 金	46,860,000	38,497,280	82.2	31,270,980	7,226,300	23.1
工 事 負 担 金	444,804,000	685,709,700	154.2	495,714,864	189,994,836	38.3
貸 付 金 回 収 金	13,626,000	5,324,000	39.1	9,607,000	△ 4,283,000	△ 44.6
固 定 資 産 売 却 代 金	55,631,000	1,647,082	3.0	3,602,066	△ 1,954,984	△ 54.3
翌 年 度 繰 越 充 当 財 源 額 (B)	0	884,338,617	-	627,111,363	257,227,254	41.0
補 填 額 (C)	20,583,452,363	20,039,077,447	97.4	20,355,655,708	△ 316,578,261	△ 1.6
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	731,160,000	769,659,721	105.3	1,004,392,370	△ 234,732,649	△ 23.4
繰 越 工 事 資 金	627,111,363	627,253,803	100.0	472,076,807	155,176,996	32.9
当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	18,026,576,000	17,443,558,426	96.8	17,505,249,189	△ 61,690,763	△ 0.4
減 債 積 立 金	1,198,605,000	1,198,605,497	100.0	1,373,937,342	△ 175,331,845	△ 12.8
計 (A) - (B) + (C)	69,371,949,923	59,709,459,299	86.1	63,817,238,405	△ 4,107,779,106	△ 6.4



資本的支出

区 分	令 和 4 年 度		執行率	令和3年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	支 出 額			増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出	円 69,689,776,063	円 59,709,459,299	% 85.7	円 63,817,238,405	円 △ 4,107,779,106	% △ 6.4
建設改良費	25,032,663,063	15,160,690,708	60.6	18,965,000,935	△ 3,804,310,227	△ 20.1
公共下水道整備費	22,472,468,263	13,953,604,392	62.1	17,336,196,661	△ 3,382,592,269	△ 19.5
受益者負担金業務費	17,984,000	12,170,035	67.7	12,627,475	△ 457,440	△ 3.6
排水設備整備費	1,180,602,000	446,991,238	37.9	521,769,399	△ 74,778,161	△ 14.3
流域下水道整備費	213,402,000	93,130,393	43.6	50,747,143	42,383,250	83.5
諸設備新設改良費	60,532,000	33,099,930	54.7	70,785,330	△ 37,685,400	△ 53.2
建設利息	8,200,000	3,500,000	42.7	500,000	3,000,000	600.0
市街化区域外汚水 処理施設整備費	1,079,474,800	618,194,720	57.3	972,374,927	△ 354,180,207	△ 36.4
償 還 金	44,643,922,000	44,544,305,591	99.8	44,845,111,470	△ 300,805,879	△ 0.7
企業債償還金	44,643,922,000	44,544,305,591	99.8	44,845,111,470	△ 300,805,879	△ 0.7
貸 付 金	10,670,000	3,215,000	30.1	1,981,000	1,234,000	62.3
水洗便所改造資金貸付金	5,030,000	1,040,000	20.7	1,040,000	0	0.0
し尿浄化槽廃止資金貸付金	5,640,000	2,175,000	38.6	941,000	1,234,000	131.1
一般会計借入金償還金	2,521,000	1,248,000	49.5	5,145,000	△ 3,897,000	△ 75.7
水洗便所改造資金 貸付借入金償還金	2,283,000	1,010,000	44.2	4,016,000	△ 3,006,000	△ 74.9
し尿浄化槽資金 貸付借入金償還金	238,000	238,000	100.0	1,129,000	△ 891,000	△ 78.9

3 資産及び企業債の状況

下水道事業の令和5年3月31日現在の資産及び企業債の状況は、次のとおりです。

(1) 資産の状況

ア 固定資産	7,637億6,122万5,038円
イ 流動資産	111億2,697万6,400円
計	7,748億8,820万1,438円

(2) 企業債の状況 3,697億4,908万4,456円

4 令和5年度予算の概要

下水道の整備については、市民のより良い生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るための都市基盤整備の一環として、最重点施策の一つに位置付けており、鋭意これを推進しているところです。

下水道の建設には多額の資金を要し、その財源の大半を企業債に依存していることから、多額の企業債の償還が続くとともに、施設の増加等により維持管理費も増加傾向ですが、本年度も一層計画的、効率的な下水道の整備と維持管理に努めます。

(1) 主要な建設改良事業

ア 公共下水道整備事業

本年度は、145億7,317万1千円の事業費を計上しています。

下水管きよの布設については、尾長、祇園、安古市、安佐、亀山、中野、五日市、八幡地区等で整備を行うこととしています。

水資源再生センターについては、千田、旭町、西部、江波水資源再生センターの整備を行うこととしています。

イ 排水設備整備事業

本年度は、事業費7億7,952万7千円で、他事業との関連による管きよの移設及び管きよ施設の適切な維持管理のための改良等を行うこととしています。

ウ 流域下水道整備事業

本年度は、事業費1億7,214万2千円で、広島県が施行する太田川流域下水道整備事業に対し、その費用の一部を負担することとしています。

エ 市街化区域外汚水処理施設整備事業

本年度は、4億5,725万9千円の事業費を計上しています。

特定環境保全公共下水道整備として、可部、安佐、大林、湯来地区の下水管きよの布設整備を行うこととしています。

農業集落排水処理施設整備として、戸山、白木地区の下水管きよの布設を行うこととしています。

市営浄化槽整備として、浄化槽15箇所の整備を行うこととしています。

(2) 収益的収入及び支出

収益的収支は、下水道使用料等の収益と下水道事業活動に伴い必要となる維持管理費等の費用を計上しています。このうち収入は、下水道使用料213億8,472万8千円を含む総額449億1,857万2千円を見込んでいます。

一方、支出は、維持管理費、企業債利息等により総額438億9,605万4千円を見込んでいます。

(3) 資本的収入及び支出

資本的収支は、施設の建設及び企業債の元金償還等に係る経費と、これらに必要な国庫補助金、企業債収入等の財源を計上しています。

このうち、建設企業債等の収入総額 4 1 3 億 7 0 5 万円に対して、公共下水道整備費等の支出総額は 6 0 7 億 3, 5 9 1 万 1 千円となっており、1 9 4 億 2, 8 8 6 万 1 千円の不

足が生ずる見込みですが、この不足分については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金等で補填することとしています。

以上の結果、本年度の当初予算規模は 1, 0 4 6 億 3, 1 9 6 万 5 千円となり、前年度当初予算と比較して 3 億 1, 7 0 1 万 3 千円 ( 0. 3 %) の増加となっています。

(4) 予算性質別比較表

ア 収益的収入及び支出

収益的収入

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 収 益 (A)	千円 44,918,572	% 100.0	千円 45,631,516	% 100.0	千円 △ 712,944	% △ 1.6
営 業 収 益	35,386,908	78.8	35,948,146	78.8	△ 561,238	△ 1.6
下 水 道 使 用 料	21,384,728	47.6	21,335,200	46.8	49,528	0.2
一 般 会 計 負 担 金	13,797,617	30.7	14,417,601	31.6	△ 619,984	△ 4.3
そ の 他 営 業 収 益	204,563	0.5	195,345	0.4	9,218	4.7
営 業 外 収 益	9,528,788	21.2	9,680,494	21.2	△ 151,706	△ 1.6
受 取 利 息	70	0.0	69	0.0	1	1.4
負 担 金	49,683	0.1	69,321	0.2	△ 19,638	△ 28.3
一 般 会 計 補 助 金	0	0.0	408	0.0	△ 408	皆減
長 期 前 受 金 戻 入	9,455,090	21.0	9,589,647	21.0	△ 134,557	△ 1.4
雑 収 益	23,945	0.1	21,049	0.0	2,896	13.8
特 別 利 益	2,876	0.0	2,876	0.0	0	0.0
過 年 度 損 益 修 正 益	2,876	0.0	2,876	0.0	0	0.0

収益的支出

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 費 用 (B)	千円 43,896,054	% 100.0	千円 43,621,846	% 100.0	千円 274,208	% 0.6
営 業 費 用	39,268,040	89.4	38,342,568	87.9	925,472	2.4
人 件 費	2,627,916	6.0	2,600,483	6.0	27,433	1.1
委 託 費	4,811,600	11.0	4,592,985	10.5	218,615	4.8
維 持 補 修 費	1,357,392	3.1	1,369,249	3.1	△ 11,857	△ 0.9
動 力 費	1,086,299	2.5	464,979	1.1	621,320	133.6
薬 品 費	91,685	0.2	93,164	0.2	△ 1,479	△ 1.6
物 件 費 そ の 他	2,360,981	5.3	1,604,485	3.7	756,496	47.1
減 価 償 却 費	26,580,629	60.5	26,572,870	60.9	7,759	0.0
資 産 減 耗 費	351,538	0.8	1,044,353	2.4	△ 692,815	△ 66.3
営 業 外 費 用	4,599,725	10.5	5,251,182	12.1	△ 651,457	△ 12.4
支 払 利 息 及 び 費	4,207,550	9.6	4,668,395	10.7	△ 460,845	△ 9.9
企 業 債 取 扱 諸 費						
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	392,158	0.9	582,770	1.4	△ 190,612	△ 32.7
雑 支 出	17	0.0	17	0.0	0	0.0
特 別 損 失	8,289	0.0	8,096	0.0	193	2.4
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.0	0	0.0

収 支 差 引 (C) = (A) - (B)	千円 1,022,518	% -	千円 2,009,670	% -	千円 △ 987,152	% △ 49.1
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額 (D)	902,218	-	806,550	-	95,668	11.9

純 損 益 (C) - (D)	120,300	-	1,203,120	-	△ 1,082,820	△ 90.0
-----------------	---------	---	-----------	---	-------------	--------

イ 資本的收入及び支出

資本的收入

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
資 本 的 収 入	41,307,050	68.0	40,661,375	67.0	645,675	1.6
建設 企 業 債	14,843,300	24.4	14,472,200	23.9	371,100	2.6
借 換 債	17,007,700	28.0	16,333,500	26.9	674,200	4.1
一 般 会 計 出 資 金	3,640,474	6.0	4,108,919	6.8	△ 468,445	△ 11.4
国 庫 補 助 金	5,103,700	8.4	5,104,200	8.4	△ 500	0.0
工 事 受 託 金	54,236	0.1	59,075	0.1	△ 4,839	△ 8.2
受 益 者 負 担 金	14,208	0.0	22,560	0.0	△ 8,352	△ 37.0
受 益 者 分 担 金	40,980	0.1	46,860	0.1	△ 5,880	△ 12.5
工 事 負 担 金	577,808	1.0	444,804	0.7	133,004	29.9
貸 付 金 回 収 金	9,913	0.0	13,626	0.0	△ 3,713	△ 27.2
土 地 売 却 代 金	14,731	0.0	55,631	0.1	△ 40,900	△ 73.5
補 填 額	19,428,861	32.0	20,031,731	33.0	△ 602,870	△ 3.0
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	902,218	1.5	806,550	1.3	95,668	11.9
当年度分損益勘定留保資金	17,477,077	28.8	18,026,576	29.7	△ 549,499	△ 3.0
減 債 積 立 金	1,049,566	1.7	1,198,605	2.0	△ 149,039	△ 12.4
計 (A)	60,735,911	100.0	60,693,106	100.0	42,805	0.1

資本的支出

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
資 本 的 支 出 (B)	60,735,911	100.0	60,693,106	100	42,805	0.1
建設 改 良 費	16,104,201	26.6	16,035,993	26.5	68,208	0.4
公 共 下 水 道 整 備 費	14,573,171	24.0	14,107,738	23.3	465,433	3.3
受 益 者 負 担 金 業 務 費	18,558	0.0	17,984	0.0	574	3.2
排 水 設 備 整 備 費	779,527	1.3	946,902	1.6	△ 167,375	△ 17.7
流 域 下 水 道 整 備 費	172,142	0.3	213,402	0.4	△ 41,260	△ 19.3
諸 設 備 新 設 改 良 費	90,944	0.2	57,617	0.1	33,327	57.8
建 設 利 息	12,600	0.0	8,200	0.0	4,400	53.7
市 街 化 区 域 外 汚 水 処 理 施 設 整 備 費	457,259	0.8	684,150	1.1	△ 226,891	△ 33.2
償 還 金	44,621,423	73.4	44,643,922	73.5	△ 22,499	△ 0.1
企 業 債 償 還 金	44,621,423	73.4	44,643,922	73.5	△ 22,499	△ 0.1
貸 付 金	8,096	0.0	10,670	0.0	△ 2,574	△ 24.1
水 洗 便 所 改 造 資 金 貸 付 金	2,976	0.0	5,030	0.0	△ 2,054	△ 40.8
し 尿 浄 化 槽 廃 止 資 金 貸 付 金	5,120	0.0	5,640	0.0	△ 520	△ 9.2
一 般 会 計 借 入 金 償 還 金	2,191	0.0	2,521	0.0	△ 330	△ 13.1
収 支 差 引 (A) - (B)	0	-	0	-	0	-

令和4年度第2回広島市安芸市民病院事業の業務状況

1 事業の概況

令和4年度下半期（自令和4年10月1日至令和5年3月31日）における広島市安芸市民病院事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の利用状況

今期の入院患者の延数は22,119人で、前年同期に比べ2,357人（9.6%）の減少となりました。

また、外来患者の延数は22,483人で、前年同期に比べ1,124人（4.8%）の減少となりました。

患者数の比較

区分	年度	令和 4 年度		令和 3 年度		比 較	
		下半期	下半期	下半期	下半期	増 △ 減	増減率
入院	延数	22,119	24,476	24,476	22,119	△ 2,357	△ 9.6
	一日平均	121.5	134.5	134.5	121.5	△ 13.0	△ 9.7
	延数	22,483	23,607	23,607	22,483	△ 1,124	△ 4.8

外来	一日平均	188.9	193.5	△ 4.6	△ 2.4
		延数	44,602	48,083	△ 3,481
合計	一日平均	310.4	328.0	△ 17.6	△ 5.4

(2) 工事の状況

今期の工事の状況は、次表のとおりです。

工 事 名	本年度施行内容	本年度工事費	着工年月日	完了(予定)年月日
病棟新築その他整備事業に伴う基本・実施設計業務	同左	円 169,875,200	R3. 3. 1	R4. 11. 15
機能訓練棟解体その他工事	同左	15,993,000	R4. 12. 16	R5. 7. 7
合 計		185,868,200	-	-

(3) 医療機器の整備状況

今期の医療機器の整備の状況は、該当ありません。

2 経理の状況

令和 4 年度の予算執行状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

今年度の収益的収入は 2 億 7,898 万 2,078 円で、

予算額に対する執行率は 96.8% で、前年度決算額に比べ 2.6% の増加となりました。

また、収益的支出は 2 億 7,687 万 3,311 円で、予算額に対する執行率は 96.8% で、前年度決算額に比べ 2.4% の増加となりました。

取 入

区 分	令 和 4 年 度			令和 3 年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	収 入 額	執行率		増 △ 減	増減率
病 院 事 業 収 益 (A)	円 2,250,449,000	円 2,178,982,078	% 96.8	円 2,124,274,166	円 54,707,912	% 2.6
医 業 収 益	2,031,866,000	1,992,711,144	98.1	1,945,277,712	47,433,432	2.4
入 院 収 益	1,422,975,000	1,411,092,419	99.2	1,413,837,919	△ 2,745,500	△ 0.2
外 来 収 益	508,765,000	499,806,135	98.2	431,269,440	68,536,695	15.9
そ の 他 医 業 収 益	100,126,000	81,812,590	81.7	100,170,353	△ 18,357,763	△ 18.3
医 業 外 収 益	217,632,000	185,177,777	85.1	177,570,867	7,606,910	4.3
特 別 利 益	951,000	1,093,157	114.9	1,425,587	△ 332,430	△ 23.3

支 出

区 分	令 和 4 年 度			令和 3 年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	支 出 額	執行率		増 △ 減	増減率
病 院 事 業 費 (B)	円 2,248,990,000	円 2,176,873,311	% 96.8	円 2,125,461,205	円 51,412,106	% 2.4
医 業 費 用	2,211,856,000	2,148,577,118	97.1	2,093,951,908	54,625,210	2.6
給 与 費	11,355,000	7,134,725	62.8	7,174,215	△ 39,490	△ 0.6
経 費	2,121,496,000	2,055,851,172	96.9	1,999,795,976	56,055,196	2.8
そ の 他	79,005,000	85,591,221	108.3	86,981,717	△ 1,390,496	△ 1.6
医 業 外 費 用	29,134,000	26,869,367	92.2	29,447,053	△ 2,577,686	△ 8.8
特 別 損 失	3,000,000	1,426,826	47.6	2,062,244	△ 635,418	△ 30.8
予 備 費	5,000,000	0	0.0	0	0	-
収 支 差 引 (A) - (B)	1,459,000	2,108,767	144.5	△ 1,187,039	3,295,806	△ 277.6

(2) 資本的収支の状況

今年度の資本的収入は 3 億 6,360 万 4,412 円で、予算額に対する執行率は 120.1% で、前年度決算額に比べ

218.8% の増加となりました。

また、資本的支出は 3 億 2,832 万 2,612 円で、予算額に対する執行率は 99.9% で、前年度決算額に比べ 3

9.6%の増加となりました。

収入

区 分	令 和 4 年 度			令和3年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	収 入 額	執行率		増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入 (A)	円 302,705,000	円 363,604,412	% 120.1	円 114,068,135	円 249,536,277	% 218.8
企 業 債	186,300,000	247,200,000	132.7	0	247,200,000	皆増
負 担 金	116,405,000	116,404,412	100.0	114,068,135	2,336,277	2.0
補 填 額 (B)	26,050,000	42,118,200	161.7	121,040,300	△ 78,922,100	△ 65.2
当 年 度 同 意 済 企 業 債 未 発 行 分	0	15,900,000	-	77,400,000	△ 61,500,000	△ 79.5
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	62,000	397,883	641.7	120,722	277,161	229.6
過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	25,988,000	25,820,317	99.4	43,519,578	△ 17,699,261	△ 40.7
前 年 度 財 源 充 当 額 (C)	0	77,400,000	-	0	77,400,000	皆増
計 (A) + (B) - (C)	328,755,000	328,322,612	99.9	235,108,435	93,214,177	39.6

支出

区 分	令 和 4 年 度			令和3年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	支 出 額	執行率		増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出	円 328,755,000	円 328,322,612	% 99.9	円 235,108,435	円 93,214,177	% 39.6
建 設 改 良 費	186,300,000	185,868,200	99.8	77,465,300	108,402,900	139.9
改 良 費	186,300,000	185,868,200	99.8	77,465,300	108,402,900	139.9
資 産 購 入 費	0	0	-	0	0	-
企 業 債 償 還 金	142,455,000	142,454,412	100.0	157,643,135	△ 15,188,723	△ 9.6

3 資産、企業債及び長期借入金の現在高

令和5年3月31日現在の資産、企業債及び長期借入金の現在高は、次表のとおりです。

区 分	金 額
資産の現在高	円 固 定 資 産 2,579,719,793
	流 動 資 産 502,704,863
	計 3,082,424,656
企 業 債 の 現 在 高	1,219,405,381
長 期 借 入 金 の 現 在 高	41,908,733

4 令和5年度予算の状況

令和5年度予算の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

収益的収入は、22億61万1千円で、前年度当初予算額に比べ4,775万円(2.2%)増収の見込みとなっています。

す。

内訳は、入院収益として14億812万4千円、外来収益として4億8,930万2千円、特別病室使用料その他医業収益として1億334万円、負担金交付金等医業外収益及び特別利益として1億9,984万5千円を計上しています。

次に、収益的支出は、前年度当初予算額に比べ4,881万3千円(2.3%)増加の22億21万5千円を計上しています。

内訳は、給与費として1,143万8千円、診療報酬交付金等の経費として20億8,221万8千円、減価償却費等その他の医業費用として6,712万6千円、企業債利息等医業外費用として3,075万7千円、特別損失及び予備費として867万6千円を計上しています。

なお、令和5年度は、収支差引で39万6千円の純利益を見込んでいます。

収入

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額 a	構成比	当初予算額 b	構成比	増 △ 減 a - b	増減率
病 院 事 業 収 益 (A)	千円 2,200,611	% 100.0	千円 2,152,861	% 100.0	千円 47,750	% 2.2
医 業 収 益	2,000,766	90.9	1,934,278	89.9	66,488	3.4
入 院 収 益	1,408,124	64.0	1,422,975	66.1	△ 14,851	△ 1.0

外 来 収 益	489,302	22.2	411,177	19.1	78,125	19.0
そ の 他 医 業 収 益	103,340	4.7	100,126	4.7	3,214	3.2
医 業 外 収 益	198,893	9.0	217,632	10.1	△ 18,739	△ 8.6
特 別 利 益	952	0.1	951	0.0	1	0.1

支 出

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額 a	構成比	当初予算額 b	構成比	増 △ 減 a - b	増減率
病 院 事 業 費 (B)	千円 2,200,215	% 100.0	千円 2,151,402	% 100.0	千円 48,813	% 2.3
医 業 費 用	2,160,782	98.2	2,114,268	98.3	46,514	2.2
給 与 費	11,438	0.5	11,355	0.5	83	0.7
経 費	2,082,218	94.6	2,023,908	94.1	58,310	2.9
そ の 他	67,126	3.1	79,005	3.7	△ 11,879	△ 15.0
医 業 外 費 用	30,757	1.4	29,134	1.4	1,623	5.6
特 別 損 失	3,676	0.2	3,000	0.1	676	22.5
予 備 費	5,000	0.2	5,000	0.2	0	0.0
収 支 差 引 (A) - (B)	396	-	1,459	-	△ 1,063	△ 72.9

(2) 資本的収支の状況

資本的収入は9億673万4千円で、前年度当初予算額に比べ6億402万9千円（199.5%）の増加となっています。

内訳は、改良費に充てるための企業債7億8,850万円、企業債元金償還金に対する一般会計負担金1億1,653万4千円、土地の有償所管替えによる固定資産売却代金1

70万円となっています。

次に、資本的支出は9億1,685万9千円で、前年度当初予算額に比べ5億8,810万4千円（178.9%）の増加となっています。

内訳は、改良費7億8,850万円、企業債償還金1億2,835万9千円となっています。

収 入

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額 a	構成比	当初予算額 b	構成比	増 △ 減 a - b	増減率
資 本 的 収 入 (A)	千円 906,734	% 98.9	千円 302,705	% 92.1	千円 604,029	% 199.5
企 業 債	788,500	86.0	186,300	56.7	602,200	323.2
負 担 金	116,534	12.7	116,405	35.4	129	0.1
固 定 資 産 売 却 代 金	1,700	0.2	0	0.0	1,700	皆増
補 填 額 (B)	10,125	1.1	26,050	7.9	△ 15,925	△ 61.1
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	57	0.0	62	0.0	△ 5	△ 8.1
過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	10,068	1.1	25,988	7.9	△ 15,920	△ 61.3
計 (C) = (A) + (B)	916,859	100.0	328,755	100.0	588,104	178.9

支 出

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較	
	当初予算額 a	構成比	当初予算額 b	構成比	増 △ 減 a - b	増減率
資 本 的 支 出 (D)	千円 916,859	% 100.0	千円 328,755	% 100.0	千円 588,104	% 178.9
建 設 改 良 費	788,500	86.0	186,300	56.7	602,200	323.2
改 良 費	788,500	86.0	186,300	56.7	602,200	323.2
資 産 購 入 費	0	0.0	0	0.0	0	-
企 業 債 償 還 金	128,359	14.0	142,455	43.3	△ 14,096	△ 9.9
収 支 差 引 (C) - (D)	0	-	0	-	0	-